

▼ **中国** の活動だより

**広島支部デジカメの会**

熊野 隆史(RCC)

カメラに接したのはいつ頃だろうか。高価な精密機械という印象であった。入社した時代が所得倍増時代。生活費以外の趣味の費用が出せる時期、ニコンカメラを手にした記憶がある。しかし、使いこなした記憶はない。向き合い出したのは、退職し、OB会に入部した頃、小型カメラで散策しながらの撮影であった。ニコンD90を購入した。少し勉強しないと使いこなせない。レンズを300mmにして撮れる範囲が広がった。フィルムからデジタルに変わり、何枚でも写せるし、外付けハードディスクやPCのピクチャーに相当量保存が可能である。編集や保存そして写真送信もアプリで完結できる。

iPhoneカメラは進化し続け、一眼カメラを抜き去ろうとしている時代になった。

小品を撮る機会が増え、近所の道端や公園に咲く花、動物園、戦後の遺跡やお城など、近くでの撮影が増えた。これに世界遺産の「宮島」が春夏秋冬のレギュラー撮影場所である。そこに活

きている動植物、遺跡、じっと佇んでいる建物や樹木、何とか上手に撮りたいと思うのであるが、実現できないでいる。

対象物が「そのように」見えるというのは、カメラに於いて原点ではないかと思われる。対象物をそれらしく「写す」技術を磨きたい。小品としてそこにある自然の花「コスモス」は私のライフワークであり、上手く撮れないか、気持ちが出せないか、願っている。「縮景園」は浅野家の庭園であり、四季折々の草花が愛でられる場所である。65歳以上は無料。庭園係員は親切に何やかや教えて下さる。作品としての対象物の活かしている存在が撮れないか、夢は広がるばかりである。



広島市 縮景園「清風館」にて

**山陰支部ゴルフ会**

久保田 美雄(BSS)

山陰各民放のOB十数人が集うゴルフ会で、春と秋に懇親ゴルフをしています。私たちがいつも利用しているのが大山平原ゴルフクラブです。大山の裾野に広がる丘陵コースで日本海・隠岐島の眺望も良く、四季折々紅葉や若葉が映えてゴルフアートを和ませてくれます。

開場は1976年(昭和51年)、コースの造成当初から私は16ミリフィルムカメラで撮影、テレビ番組を制作していました。開場記念イベントで来場した陳清波プロが鮮やかなプレーを見せてくれ、各ホールを全てイーブンで回り72でホールアウト。取材を通じて『プロは凄い!!』と強く印象づけられました。

昭和56年から山陰女子プロ大会が始まり岡本綾子プロが優勝、平成24年から女子プロ・ステップアップ大会が開かれ、鈴木愛プロが育つていくなど名門コースとして全国的に知られるようになりました。広いフェアウエーで各ホールがほとんどフラットで

すが、バンカーが要所要所を引き締めておりグリーンを攻めるのが難しく、楽しいコースなのです。



スタート前のメンバー



15番ホールからの眺望